

令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年05月21日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	195	子ども会等活動費補助事業							
	この事務事業 の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち								
			施策	安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう								
			基本事業	地域で子育てを支える環境								
	主管課名		こども政策課		課長名	加藤 陽介						
	この事務事業の開始時期		平成13(2001)年		事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務						
	この事務事業の根拠法令		みよし市地区子ども会活動事業実施要領									
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由							
	地区におけるこどもの健全育成を図り、児童福祉の増進に資することを目的に、子ども会（17団体）、ジュニアリーダークラブ（1団体）及び子育てクラブ（17団体）へ補助金を交付する。また、地区子ども会の諸活動の助長に関する事業を支援することにより、みよし市におけるこどもの健全な育成を図ることを目的として活動する子ども会育成連絡協議会の運営に対して補助金を交付する。 S D G s の取り組み：3, 4, 11, 17				こどもの自主性と社会性を高めるとともに、日常生活を健全で豊かなものにするを目的として活動する団体を支援するため。 活動子ども会 17団体 活動休止子ども会 8団体（福田、高嶺、好住、中島、あみだ堂、山伏、平池、上ヶ池）							
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		各団体から提出された補助金交付申請について、内容を審査し、交付決定通知を行い、補助金を交付した。事業完了後は補助金実績報告が提出された。									
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）								
変 化 内 容	行政区によってはこどもの人口が減少し、子ども会活動の継続が困難な地域がある。			名称		単位						
				①	小学1～6年生の児童数	人						
				②								
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）								
①子ども会 ②ジュニアリーダークラブ ③子育てクラブ				名称		単位						
				①	子ども会数	団体						
				②	子育てクラブ数	団体						
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）								
こどもの自主性と社会性を高めるとともに、日常生活を健全で豊かなものにする。				名称		単位						
				①	子ども会会員数	人						
				②	子育てクラブ会員数	人						
結果(上位基本事業の意図)				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）								
こどもが心身ともに健全に成長する。				名称		単位						
				①	子育て環境に対する市民満足度割合	%						
				②								
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 人	3,669	3,646	3,646	3,658	3,671	3,611	3,488			
		②										
(2)の 対象指標		① 団体	19	18	17	18	18	18	18			
		② 団体	18	17	17	17	17	17	17			
(3)の 成果指標		① 人	3,075	2,970	2,639	2,970	2,970	2,970	2,970			
		② 人	2,615	2,180	2,188	2,180	2,180	2,180	2,180			
(4)の結果の 成果指標		① %	95	95	93.8	95	95	95	95			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	03	項	02	目	01
コスト		年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	3,637	5,451	4,072	8,094	8,094	8,094	8,094			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	3,637	5,451	4,072	8,094	8,094	8,094	8,094			
人件費B		千円	1,320	1,320	1,320	1,320	1,320	1,320	1,320			
正職員従事時間×人数		時間×人	125×3	125×3	125×3	125×3	125×3	125×3	125×3			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	0	143	100	143	0	0	0			
トータルコストA+B+C		千円	4,957	6,914	5,492	9,557	9,414	9,414	9,414			
単位あたりコスト		① 千円/団体	260.9	384.1	323.1	530.9	523	523	523			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/団体	275.4	406.7	323.1	562.2	553.8	553.8	553.8			

様式1-2

事務事業名		No.	195	子ども会等活動費補助事業	
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない		理由 補助金を交付し、事業が実施されていることにより、目的が達成できている。
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない		その理由 地域で子どもが主体的に活動する団体へ補助するものであり、対象を見直すことはできない。
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない		その理由 地域社会における児童の福祉の増進に資することを目的としており、環境変化に伴う見直しはない。
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容		行政区単位ではなく、広域的な受入れを実施することにより、子ども会活動が休止している行政区に居住する子どもが活動に参加することができる。
		目的達成状況	内 容		対象児童が、各地区平均で75.6%加入している。
		市関与の必要性（実施手法）	内 容		☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金・負担金助成 ☐ 市の直営 地域で子どもが主体的に活動する団体の運営費の一部を補助している。
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容		同様の目的で活動する団体はあるが、管轄する国の省庁が異なるため、統廃合することはできない。
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内 容		行政区単位ではなく、広域的な活動を推奨することにより、効率的な活動に繋がり、事業費を削減することができる。
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☐ ある ☒ 現状で適正 ☒ ない ☐ 検討が必要 ☐ 受益者がいない		内 容 運営費の一部を補助する事業であるため、受益者に負担を強いるものではない。
	3 改革 改善 案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	団体役員のみ手不足	
R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	子ども会活動費補助金、ジュニアリーダークラブ活動費補助金、子育てクラブ活動費補助金及び子ども会育成連絡協議会活動費補助金の交付。		変 更 追 加 継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案		
☐ 拡大 ☒ 改善 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 地域の子ども会役員や子育てクラブ役職者は、多くが毎年交代するので、地域での子ども会組織の担い手の育成という面では懸念される。		
コストの方向性 → 維持					
成果の方向性 → 維持					

令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年11月12日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名	No.	5139	児童館等維持管理事業								
	この事務事業 の位置	政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち									
		施策	安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう									
		基本事業	地域で子育てを支える環境									
	主管課名	こども政策課			課長名	加藤 陽介						
	この事務事業の開始時期	令和4(2022)年			事務区分	□ 法定受託事務 ■ 自治事務						
	この事務事業の根拠法令	みよし市立児童厚生施設の設置及び管理に関する条例										
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由							
	平成29(2017)年3月にみよし市公共施設等総合管理計画が策定され、その計画に基づき個別施設計画を策定した。特に老朽化が著しい児童館の長寿化計画としてみよし市子育て支援施設個別施設計画を令和元(2019)年度に策定した。 SDGsの取り組み：3, 4				個別施設計画に基づき順次、児童館の大規模改修工事を実施する予定だったが、令和5(2023)年度以降3年間は地区施設等について長寿化工事を実施せず、計画見直しに向けた取り組みを行う。 児童館(13館)の修繕等の費用について、行政区に対し補助金を交付する。							
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			各行政区から提出された地区公共施設修繕等補助金の申請について、内容を審査し、交付決定通知を行い、補助金を交付した。事業完了後は、補助金実績報告が提出された。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）								
変 化 内 容	老朽化により、修繕を必要とする施設が増加している。			名称		単位						
				① 大規模改修工事対象児童館数		館						
				② 地区公共施設修繕補助金交付行政区数		区						
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）								
児童館				名称		単位						
				① 市内児童館数		館						
				②								
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）								
利用者が安心して過ごすことができる				名称		単位						
				① 児童館の年間利用者数		人						
				②								
結果(上位基本事業の意図)				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）								
児童が心身ともに健全に成長する				名称		単位						
				① 子育て環境に対する市民満足度割合		%						
				②								
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
(1)の 活動指標	① 館		2	0	0	0	0	2	2			
	② 区		6	13	5	13	13	11	11			
(2)の 対象指標	① 館		13	13	13	13	13	13	13			
	②											
(3)の 成果指標	① 人		44,108	50,000	53,158	50,000	50,000	50,000	50,000			
	②											
(4)の結果の 成果指標	① %		95	95	93.8	95	95	95	95			
	②											
予算費目		会計	01 一般会計				款	03	項	02	目	04
コスト		年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
財 源 内 訳	事業費(決算又は予算額) A	単位	176,554	2,000	3,235	2,463	2,380	2,380	2,380			
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	70,000	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	106,554	2,000	3,235	2,463	2,380	2,380	2,380			
人件費B		千円	1,408	1,408	1,408	1,408	1,408	1,408	1,408			
正職員従事時間×人数		時間×人	200×2	200×2	200×2	200×2	200×2	200×2	200×2			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	0	0	0	0	0	0	0			
トータルコストA+B+C		千円	177,962	3,408	4,643	3,871	3,788	3,788	3,788			
単位あたりコスト		① 千円/館	13,689.4	262.2	357.2	297.8	291.4	291.4	291.4			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名		No.	5139 児童館等維持管理事業			
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない	理 由	利用者が安全かつ快適に過ごせるよう、環境を整備している。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☒ ある ☐ ない	その理由	令和5（2023）年度以降3年間は地区施設等について長寿命化工事等を実施せず、計画見直しに向けた取り組みを行う。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☒ ある ☐ ない	その理由	令和5（2023）年度から令和7（2025）年度までに長寿命化等に係る工事を実施予定であった児童館の大規模改修工事及び設計委託を見直す。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容	施設の複合化、集約化及び廃止		
		目的達成状況	内 容	計画の見直しを行う		
		市関与の必要性 （実施手法）	内 容	☒ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金・負担金助成 ☒ 市の直営 大規模改修工事及び設計は民間へ委託する。軽度の修繕は行政区が修繕費を負担し、一部を補助金として交付している。		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容	児童館等活動運営事業から分割した事業のため、統廃合はしない。		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内 容	個別施設計画の見直し		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☐ ある ☒ 現状で適正 ☒ ない ☐ 検討が必要 ☐ 受益者がいない	内 容	児童が心身ともに健全に成長するための場所を提供するものであり、受益者負担を求める施設ではない。	
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	施設の老朽化が進んでいるため、早急に改修工事をお願いしたい。		対応策
R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	個別施設計画に基づき大規模改修工事を実施		変 更 追 加	個別施設計画の見直し。 令和5（2023）年度から令和7（2025）年度までの大規模改修工事及び設計の中止（延期）
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案			
☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 地区公共施設修繕等事業補助金は継続して実施していく。			
コストの方向性			→ 維持			
成果の方向性			↓ 減少			

令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年05月15日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名	No.	200	児童館等活動運営事業								
	この事務事業 の位置	政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち									
		施策	安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう									
		基本事業	地域で子育てを支える環境									
	主管課名	こども政策課			課長名	加藤 陽介						
	この事務事業の開始時期	昭和43(1968)年度			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務						
	この事務事業の根拠法令	みよし市児童厚生施設管理規則										
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由							
	児童館(13館)及び集会所内児童厚生施設(12館)を設置し、児童が安心して遊ぶことができる場を提供する。各施設に児童厚生員を配置し、児童館等行事を通じ、地域児童の育成及び指導行う。 S D G s の取り組み：3, 4, 11, 17				各種行事等の開催を通じて、児童の情操教育や連帯意識の高揚を図るとともに、こどもたちの地域での居場所を確保する必要がある。							
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			児童館は午前10時から午後5時まで、集会所内児童厚生施設は午後2時から午後5時まで開館し、児童厚生員が企画した行事や遊びを実施した。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）								
変 化 内 容	児童数の減少及び新型コロナウイルス感染症拡大により利用者が減少していたが、回復傾向にある。			名称			単位					
				① 児童館等年間開館総日数			日					
				②								
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）								
18歳未満の児童				名称			単位					
① 18歳未満の児童数							人					
②												
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）								
安心して過ごすことができる				名称			単位					
① 児童館等年間利用者数							人					
②												
結果(上位基本事業の意図)				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）								
児童が心身ともに健全に成長する				名称			単位					
① 子育て環境に対する市民満足度割合							%					
②												
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
(1)の 活動指標	①	日	5,489	6,150	5,596	6,150	6,150	6,150	6,150			
	②											
(2)の 対象指標	①	人	10,845	11,385	10,690	11,271	11,158	11,046	10,935			
	②											
(3)の 成果指標	①	人	60,255	70,000	77,528	72,000	73,000	74,000	75,000			
	②											
(4)の結果の 成果指標	①	%	95	95	93.8	95	95	95	95			
	②											
予算費目		会計	01 一般会計				款	03	項	02	目	03
コスト		年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	7,261	7,601	6,191	7,299	6,891	6,891	6,891			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	200	0	0	0	0			
	一般財源	千円	7,261	7,601	5,991	7,299	6,891	6,891	6,891			
人件費B		千円	5,100.5	5,100.5	5,100.5	5,100.5	5,100.5	5,100.5	5,100.5			
正職員従事時間×人数		時間×人	483×3	483×3	483×3	483×3	483×3	483×3	483×3			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	0	557	343	557	0	0	0			
トータルコストA+B+C		千円	12,361.5	13,258.5	11,634.5	12,956.5	11,991.5	11,991.5	11,991.5			
単位あたりコスト ①		千円/人	1.1	1.2	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1			
(トータルコスト/(2)の対象指標) ②		千円/	0	0	0	0	0	0	0			

様式1-2

事務事業名		No.	200	児童館等活動運営事業			
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？		☒ 得られている ☐ 得られていない	理 由	地域に密着した安心して過ごせる居場所を提供するため、環境を整備している。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？		☐ ある ☒ ない	その理由	児童福祉法に定められた児童（18歳未満）を対象としており、見直すことはできない。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？		☐ ある ☒ ない	その理由	児童に健全な遊び場を与えて、その健康を増進し情操を豊かにすることを目的としており、環境変化に伴う見直しはない。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？		内 容	児童厚生員が研修を受講し、資質向上することにより、地域児童の育成及び指導に繋がる。		
		目的達成状況		内 容	新型コロナウイルス感染症の拡大により利用者数が減少していたが、令和4(2022)年度以降は回復傾向であり、概ね計画どおりの利用者数で推移する予定。		
		市関与の必要性（実施手法）		内 容	☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金・負担金助成 ☒ 市の直営 地域で子どもの成長を見守る環境を整備するため		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。		内 容	社会福祉施設に関わる事業との統合は可能だが、事務が煩雑になり効率化を図ることができない。		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）		内 容	児童厚生員は令和2(2020)年度以降、非常勤の特別職から会計年度任用職員に移行している。従事時間については開館時間が固定であり、配置職員人数は適正であるため削減できない。		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？		☐ ある ☒ 現状で適正 ☒ ない ☐ 検討が必要 ☐ 受益者がいない	内 容	児童が心身ともに健全に成長するための場所を提供するものであり、受益者負担を求める施設ではない。	
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策		意 見	児童厚生員のなり手不足	対応策	負担軽減
R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	児童館(13館)及び集会所内児童厚生施設(12施設)の開館。 ランドセル来館を実施。	変 更 ・ 追 加	なし		
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案				
☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 午後の開館時間に児童厚生員を2人ずつ配置し、こどもへの遊びの提供等を充実させる。				
コストの方向性			→ 維持				
成果の方向性			→ 維持				

令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年11月12日

1 事務事業 の 現 状	事務事業名	No.	190	放課後児童健全育成事業													
	この事務事業 の位置	政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち														
		施策	安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう														
		基本事業	地域で子育てを支える環境														
	主管課名	学校教育課			課長名	岡田 珠見											
この事務事業の開始時期	平成11(1999)年度			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務												
	この事務事業の根拠法令			児童福祉法第6条の3第2項													
P L A N 及 び D O	事業の概要			現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由													
	保護者の就労等により家庭での監護養育に欠ける児童を対象に、学校の空き教室などを利用し、保護者が帰宅するまで、支援員のもとで自主活動、遊びを中心とした生活の場所を提供する。また、民間児童クラブの運営費を補助して、公立児童クラブの待機児童を削減するとともに、民間児童クラブの利用料負担軽減を図る。令和元(2019)年度までに市内8校全ての児童クラブを2教室化した。 通年利用は、毎週月曜日から金曜日までの開校日。 S D G s の取り組み：3, 4, 8, 11, 17			少子化・核家族化が進むなかで女性の社会進出とも相まって、昼間保護者のいない家族が多くなり、放課後児童クラブの利用ニーズは高まっている。 待機児童の増加に伴い、全ての学校区で2教室化して運営している。													
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			8児童クラブにおいて民間委託にて運営を行い、1年生から6年生を対象として開所した。通年利用料は、通常月額5,100円、8月期のみ8,000円を徴収した。待機児童対策として、定員に余裕のあるクラブへ児童をタクシーで移送する事業を開始した。													
	事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか			(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）													
	変 化 内 容	児童クラブの入所希望児童が増加傾向にある			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>児童クラブ延べ利用者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						名称	単位	①	児童クラブ延べ利用者数	人	②	
	名称	単位															
①	児童クラブ延べ利用者数	人															
②																	
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)			(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）														
①小学1～6年生の児童 ②入所を希望する児童及び保護者			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>小学1～6年生の児童数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>入所を希望する児童数</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>						名称	単位	①	小学1～6年生の児童数	人	②	入所を希望する児童数	人	
	名称	単位															
①	小学1～6年生の児童数	人															
②	入所を希望する児童数	人															
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)			(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）														
入所希望保護者の児童を入所できるようにする			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>入所児童数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						名称	単位	①	入所児童数	人	②			
	名称	単位															
①	入所児童数	人															
②																	
結果(上位基本事業の意図)			(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）														
児童クラブの環境整備			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>子育て環境に対する市民満足度割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						名称	単位	①	子育て環境に対する市民満足度割合	%	②			
	名称	単位															
①	子育て環境に対する市民満足度割合	%															
②																	
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標																	
指標 \ 年度		単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値								
(1)の活動指標		① 人	97,739	97,000	98,799	97,000	97,000	97,000	97,000								
		②															
(2)の対象指標		① 人	3,671	3,646	3,646	3,659	3,672	3,612	3,612								
		② 人	837	850	832	850	850	850	850								
(3)の成果指標		① 人	837	840	832	840	840	840	840								
		②															
(4)の結果の成果指標		① %	95.7	94	92.9	94	94	94	94								
		②															
予算費目		会計	01 一般会計				款	03	項	02	目	01					
コスト		年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値								
事業費(決算又は予算額) A		単位	169,761	177,971	174,557	184,928	184,697	184,621	184,697								
財源内訳	国庫支出金	千円	27,439	24,339	24,396	24,624	24,339	24,339	24,339								
	県支出金	千円	24,427	24,339	24,412	24,624	24,339	24,339	24,339								
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0								
	その他	千円	38,853	42,702	40,033	44,914	42,688	42,688	42,688								
一般財源		千円	79,042	86,591	85,716	90,766	93,331	93,255	93,331								
人件費B		千円	9,663	9,663	5,270.9	9,663	9,663	9,663	9,663								
正職員従事時間×人数		時間×人	800×3	800×3	286×4	800×3	800×3	800×3	800×3								
正職員以外の人件費		千円	1,215	1,215	1,244	1,215	1,215	1,215	1,215								
その他の費用C		千円	991	991	790	991	991	991	991								
トータルコストA+B+C		千円	180,415	188,625	180,617.9	195,582	195,351	195,275	195,351								
単位あたりコスト		① 千円/人	49.1	51.7	49.5	53.5	53.2	54.1	54.1								
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/人	215.5	221.9	217.1	230.1	229.8	229.7	229.8								

事務事業名	No.	190	放課後児童健全育成事業
-------	-----	-----	-------------

2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない	理 由	定員以上の入所希望者がいるクラブもあり、必要性は高まっている。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☒ ある ☐ ない	その理由	対象児童は小学1～6年生であるため見直しはないが、同居家族の就労要件については見直しを検討していく。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	市民のニーズを目的としているため、見直す必要はない。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容	公立児童クラブまたは民間児童クラブを増設する。		
		目的達成状況	内 容	計画どおり児童を入所できるようにしている。		
		市関与の必要性 (実施手法)	内 容	☐ 民間への一部委託 ☒ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金・負担金助成 ☐ 市の直営 公立児童クラブは全て民間委託し、民間児童クラブには補助金を助成し、児童の受け入れを拡大している。		
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容	児童福祉法第6条の3第2項に規定されているため、統廃合はできない。			
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内 容	民間へ委託できる業務については既に実施している。			
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☒ ある ☒ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☐ 受益者がいない	内 容	令和元(2019)年度に受益者負担の見直しを行い、適正な受益者負担としている。		

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	北部・天王児童クラブで待機児童が毎年発生している。	対応策	利用人数の少ないクラブへの移送等を行う。
	R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	8クラブの運営を民間委託にて実施。	変 更 追 加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案	
	☐ 拡大 ☒ 改善 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 児童が安心して過ごすことができる児童クラブの環境を整えるとともに、放課後こども教室やタクシー移送その他実情に合わせた増設を含め、待機児童解消に向けた取組の実施に努めていく。 また、民間の児童クラブ利用者の利用料負担の軽減を図るため、民間児童クラブに対し補助事業を実施していく。	
コストの方向性			→ 維持		
成果の方向性			→ 維持		

令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年11月12日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	191	ファミリーサポート事業							
	この事務事業 の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち								
			施策	安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう								
			基本事業	地域で子育てを支える環境								
	主管課名		保育課		課長名	本 松 抄千江						
	この事務事業の開始時期		平成17(2005)年10月3日		事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務						
	この事務事業の根拠法令		みよし市ファミリー・サポート・センター事業実施要綱									
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由							
	「仕事と育児の両立のために」を目標に「子育てを助けて欲しい」（依頼会員）「子育てのお手伝いをしたい」（援助会員）と思っている方が会員となり、お互いに助け合いながら活動する。 S D G s の取り組み：3, 4, 8, 11, 17				女性の社会進出や就労形態の多様化に伴い、こどもを保護者のみで養育する事に限界を感じている親が増えている。 また、就労形態の多様化による保護者の生活スタイルの変化に伴い短時間の保育ニーズが拡大しており、地域内で子育て支援の相互援助が図れる環境が必要になってきている。							
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			①会員の募集及び登録を行い、説明会、講習会及び交流会を実施した。 ②会員相互のニーズを把握し、援助活動の実施に向けて調整した。 ③ファミサポ通信を発行し、市民に事業を周知した。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）								
変 化 内 容	保護者の保育ニーズの多様化により、短期間・短時間の保育、病児・病後児の支援を必要とする保護者が増加している。			名称		単位						
				① 依頼会員数		人						
				② 援助会員数		人						
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）								
①生後2か月から小学6年生の児童を養育している者 ②市内在住の20歳以上の者				名称		単位						
				① 生後2か月から小学6年生の児童数		人						
				② 20歳以上の人数		人						
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）								
会員相互の育児に関する援助活動を実施する				名称		単位						
				① 援助活動実施数		件						
				②								
結果(上位基本事業の意図)				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）								
ファミリー・サポート・センター事業の充実				名称		単位						
				① 子育て環境に対する市民満足度割合		%						
				②								
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 人	157	172	160	176	194	214	236			
		② 人	33	36	28	31	35	39	43			
(2)の 対象指標		① 人	7,574	7,422	7,397	7,225	7,326	7,291	7,256			
		② 人	49,004	48,023	49,347	49,400	49,566	49,676	49,786			
(3)の 成果指標		① 件	1,238	1,361	743	818	900	990	1,089			
		②										
(4)の結果の 成果指標		① %	95	95	93	95	95	95	95			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	03	項	02	目	01
コスト		年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	416	109	258	287	287	287	287			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	416	109	258	287	287	287	287			
人件費B		千円	5,192	5,192	5,192	5,192	5,192	5,192	5,192			
正職員従事時間×人数		時間×人	295 × 5	295 × 5	295 × 5	295 × 5	295 × 5	295 × 5	295 × 5			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	0	0	0	0	0	0	0			
トータルコストA+B+C		千円	5,608	5,301	5,450	5,479	5,479	5,479	5,479			
単位あたりコスト		千円/人	0.7	0.7	0.7	0.8	0.7	0.8	0.8			
(トータルコスト/ (2) の対象指標)		千円/人	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1			

事務事業名		No.	191	ファミリーサポート事業	
-------	--	-----	-----	-------------	--

2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない		理 由	保護者の保育ニーズの多様化により、短期間保育の支援を必要とする保護者が増加している。
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない		その理由	援助が必要な対象児童を設定しているため、見直す必要はない。
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない		その理由	会員のニーズに対応しているため、見直す必要はない。
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容		事業の周知を図り、会員数を増加させる。	
		目的達成状況	内 容		新型コロナウイルス感染症拡大により援助依頼数が減少しているが、会員相互の育児に関する援助活動が実施できている。	
		市関与の必要性 (実施手法)	内 容		☐ 民間への一部委託 ☒ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金・負担金助成 ☐ 市の直営 地域における育児の相互援助の実施について、民間のノウハウを生かしながら推進することができる。	
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容		国が定める子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）実施要綱に基づき市に設置するものであるため統廃合できない。	
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はいかなる方法でもよい。）	内 容		民間委託により事業費・人件費の削減は可能。	
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☒ ある ☒ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☐ 受益者がいない		内 容	近隣市町とほぼ同額の利用料を設定している。

3 改革 改善 案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	なし	対応策	なし
	R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	会員の募集及び登録 説明会、講習会及び交流会の実施 援助活動の調整 ファミサポ通信の発行	変 更 ・ 追 加	民間委託による実施
	今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案	
	☐ 拡大 ☒ 改善 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 民間委託を実施し、研修方法を充実するとともに、多様なニーズに対応することができるようにする。	
コストの方向性			→ 維持		
成果の方向性			→ 維持		

令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和07年01月08日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	5853	地域子育て応援事業							
	この事務事業 の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち								
			施策	安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう								
			基本事業	地域で子育てを支える環境								
	主管課名		こども政策課			課長名	加藤 陽介					
	この事務事業の開始時期		令和 4 (2022) 年			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		みよし市地域子育て応援事業補助金交付要綱									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	こどもの孤立や貧困を防止し、こどもが地域の中で健やかに育つ環境を整えるために活動する団体を支援するため、団体運営に必要な経費を助成する。 子育てや育児を応援する企業を「育エールカンパニー」として認定し、公表する。 養育費の取り決めを促すとともに養育費の継続した確保を図るため、対象経費を助成する。 S D G s の取り組み：3, 4, 5, 8					子ども食堂等の活動団体を支援するため、団体運営に必要な経費を助成し、心身ともに安心できる地域の居場所の確保及び地域共生社会の実現を図る。 子育ては家庭だけでなく、地域、企業、行政など広く社会全体で子どもを育てていく必要がある。子育てや育児をエール（応援）する企業を市が応援することで、みよし市全体で子育てしやすい環境を整えていく。 養育費に関する取決めを促すとともに、養育費の継続した履行確保を図る。						
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			主な活動団体である子ども食堂に対し、ボランティア活動保険料及び検便検査手数料を補助金として交付した。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	社会情勢の不安定さや非正規雇用の拡大、ひとり親世帯の増加により、一定の生活水準を下回る貧困家庭があり、こどもの貧困が深刻化している。				名称		単位					
					① みよし市遺児手当受給児童数		人					
					②							
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
地域子育て応援団体					名称		単位					
					① 子ども食堂実施団体		団体					
					②							
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
地域交流拠点として多世代交流を促進する					名称		単位					
					① 子ども食堂開催日数		日					
					② 子ども食堂利用者数		人					
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
こどもが心身ともに安心できる地域の居場所の確保					名称		単位					
					① 子育て環境に対する市民満足度割合		%					
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
(1) の 活動指標		① 人	523	571	575	571	571	571	571			
		②										
(2) の 対象指標		① 団体	3	3	3	4	4	5	5			
		②										
(3) の 成果指標		① 日	46	50	45	60	65	70	70			
		② 人	1,362	1,400	947	1,500	1,600	1,700	1,700			
(4) の結果の 成果指標		① %	95	95	93.8	95	95	95	95			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	03	項	02	目	01
コスト		年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	30	100	10,755	755	486	486	486			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	7,809	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	30	100	2,946	755	486	486	486			
人件費 B		千円	352	352	352	352	352	352	352			
正職員従事時間×人数		時間×人	50×2	50×2	50×2	50×2	50×2	50×2	50×2			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用 C		千円	0	0	222	0	0	0	0			
トータルコスト A+B+C		千円	382	452	11,329	1,107	838	838	838			
単位あたりコスト		① 千円/団体	127.3	150.7	3,776.3	276.8	209.5	167.6	167.6			
(トータルコスト/ (2) の対象指標)		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

様式1-2

事務事業名		No.	5853 地域子育て応援事業			
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない	理 由	子ども食堂の継続的な開催を支援する	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	地域子育て応援団体を継続的に支援するため	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	地域子育て応援団体の運営費を補助するものであるため、見直しはない	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容	市内の子ども食堂を増やす		
		目的達成状況	内 容	地域子育て支援団体3団体のうち、2団体が補助金を申請している		
		市関与の必要性（実施手法）	内 容	☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金・負担金助成 ☒ 市の直営 必要な経費を補助することで、活動を支援していく		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容	統廃合する事業はない		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内 容	活動経費のうち、最低限の補助のためこれ以上の削減はない		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☐ ある ☒ 現状で適正 ☒ ない ☐ 検討が必要 ☐ 受益者がいない	内 容	活動経費の一部を補助する事業であるため、受益者に負担を強いるものではない	
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	なし		対応策
R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	主な活動団体である子ども食堂に対し、地域子育て応援事業補助金を交付		変 更 追 加	育エールカンパニーを認定し、公表する。養育費確保策として、対象経費を補助金として交付する。
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案			
☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 主な活動団体である子ども食堂の他にも、事業の目的に沿った活動団体に対して支援を広げていく。 子育てや育児を応援する企業を「育エールカンパニー」として認定し、認定証を交付する。 養育費を継続して確保するため、補助金を交付して支援する。			
コストの方向性			↓ 減少			
成果の方向性			↑ 増加			

令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年11月12日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	6098	病児病後児保育事業							
	この事務事業 の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち								
			施策	安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう								
			基本事業	地域で子育てを支える環境								
	主管課名		保育課		課長名	本 松 抄千江						
	この事務事業の開始時期		令和4年10月1日		事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務						
	この事務事業の根拠法令		児童福祉法第6条の3第13項、子ども子育て支援法第59条等									
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由							
	保護者の子育てと就労の両立を支援するために、病気 又は病気の回復期にあり集団保育等が困難で、かつ、 保護者が勤務等の都合により家庭での育児を行うこと が困難な児童を一時的に預かる事業 S D G s の取組：3，5				児童福祉法第6条の3第13項及び子ども・子育て支 援法第59条の規定に基づき、みよし市民病院で平日 （祝日、休診日を除く。）に実施している。							
	R5年度に実施した具体的な 事業の方法、手順、指標に対す る成果等				平日（土、日、祝日及び休診日を除く。）の午前8時30分から午後5時まで（緊急時のみ午後6時まで。）の間、病気やけがの回復期にある児童（病後児）又は回復期に至らない児童（病児）が集団保育の困難な期間、一時的に専用施設で保育する。							
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）								
変 化 内 容	女性の就業率の増加に伴い、保育の必要性のある児童が増 加しており、これによる病児保育事業の需要も併せて増加 している。			名称		単位						
				① 病児・病後児保育利用申請数		人						
				②								
対象(この事業の対象、範囲となる人、物) 生後8か月から小学6年生までの児童を養育している者				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）								
				名称		単位						
				① 生後8か月から小学6年生までの児童数		人						
				②								
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか) 病気やけがの回復期にある病後児又は回復期に至らない病児が集 団保育の困難な期間、一時的に専用施設で保育する				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）								
				名称		単位						
				① 病児・病後児保育利用児童数		人						
				②								
結果(上位基本事業の意図) 病児・病後児保育事業の充実				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）								
				名称		単位						
				① 子育て環境に対する市民満足度割合		%						
				②								
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 人	8	100	103	100	120	150	180			
		②										
(2)の 対象指標		① 人	7,574	7,422	7,397	7,225	7,326	7,291	7,256			
		②										
(3)の 成果指標		① 人	2	60	34	50	75	100	125			
		②										
(4)の結果の 成果指標		① %	95	95	93	95	95	95	95			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	03	項	02	目	01
コスト		年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	0	9,954	9,769	9,954	9,954	9,954	9,954			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	3,010	3,317	2,764	2,764	2,764	2,764			
	県支出金	千円	0	3,010	2,352	2,763	2,763	2,763	2,763			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	0	3,934	4,100	4,427	4,427	4,427	4,427			
人件費B		千円	1,548.8	1,548.8	1,548.8	1,548.8	1,548.8	1,548.8	1,548.8			
正職員従事時間×人数		時間×人	88×5	88×5	88×5	88×5	88×5	88×5	88×5			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	0	0	0	0	0	0	0			
トータルコストA+B+C		千円	1,548.8	11,502.8	11,317.8	11,502.8	11,502.8	11,502.8	11,502.8			
単位あたりコスト		千円/人	0.2	1.5	1.5	1.6	1.6	1.6	1.6			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名		No.	6098 病児病後児保育事業			
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない		理由	保護者の保育ニーズの多様化により、病児・病後児の支援を必要とする保護者が増加している。
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	援助が必要な児童を対象としているため、見直す必要はない。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	多様な働き方による環境変化はあるものの、病児・病後児に係る保育の実施について変化はない。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容		病児・病後児保育事業の実施について周知をし、利用を促進を図る。	
		目的達成状況	内 容		保護者の就労等により自宅で安静・療養できない病気やけがの回復期にある病後児又は回復期に至らない病児が集団保育の困難な期間、一時的に専用施設で保育することができた。	
		市関与の必要性（実施手法）	内 容		☒ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金・負担金助成 ☐ 市の直営 みよし市民病院との連携により、病児保育事業の推進が可能となる。	
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容		統廃合する事業はない。	
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内 容		民間委託により人件費を削減できる。	
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☒ ある ☒ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☐ 受益者がいない	内 容	近隣市町と同程度の利用料を設定している。	
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	みよし市民病院以外の病院でも実施してほしい。		対応策
R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	平日（土、日、祝日及び休診日を除く。） 午前9時から午後5時まで（緊急時のみ午後6時まで。）		変 更 ・ 追 加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施する。 開始時間を午前9時から午前8時30分に早める。
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案			
☐ 拡大 ☒ 改善 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 運営方法について精査し、使いやすい運営方法を検討する。			
コストの方向性			→ 維持			
成果の方向性			→ 維持			